

中部地区 公民館だより

第186号

令和8年7月31日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

微力ながら継続は力なり

6月25日(木)、上山城周辺清掃活動を行いました。上山城を訪れる観光客を気持ちよく迎えたいと始まった活動で、中部地区管内地区会長会で継続的にを行っています。汗だくになりながら土手や広場の除草作業を行い、あっという間に軽トラックがゴミ袋でいっぱいになりました。小学生の登校時間と重なるため、見守りの地区会長は参加できませんでしたが、多くの地区会長が参加しました。登校中の小学生と「おはようございます」とあいさつを交わす場面もあり、「元気な声であいさつされると、こっちも元気出るな」とパワーをもらい頑張りました。年1回の活動ですが、「多くの方に上山を訪れてほしい」という会長会の願いが込められています。

早朝からの作業、大変お疲れさまでした。



幻想的な世界へようこそ



案内役の牧野義文さん

6月28日(日)、街歩きウォーキング②西山ホテル観賞が行われました。上山小児童と家族、地区内の一般参加者を対象にした事業で、まだ明るい夕暮れ時からスタートしました。案内は西山地区の牧野義文さんで、月岡駐車場でホテルの生態や保護活動などについて説明を聞き、暗くなり始めたころに移動しました。熊出没の心配もあるので、山奥の方までは行かず、整備された安全な場所での観賞となりました。8時頃から飛び始めるとのことで待機していましたが、8時とともに1匹、また1匹と飛び交い、幻想的な光が一面に広がりました。「昆虫にも体内時計があるのかな」という話で盛りあがりました。

地域を 見る
知る
学ぶ
楽しむ

街歩きウォーキング

高齢者教室

一日研修



6月23日(火)、24日(水)2回に分けて、高齢者教室1日研修で東沢バラ公園を散策の後、山形空港で食事と見学をし、文四郎麴で焼き麴づくり体験をしました。

バラ公園では、見たこともない品種のバラが多く、バラの香りに包まれながら楽しく散策することができました。お気に入りのバラを見つけ、バラと一緒に記念撮影したり、「秋バラの時期にも来てみたい」と話している方もいました。



焼き麴作り体験では楽しさとむずかしさがあり、棒への生地巻き付けに苦戦したという声がありましたが、そのぶん焼き上がると達成感が大きく、焼きたてを試食し「食感はフランスパン以上でおいしい」と話していました。

お店では料理方法を教えてもらいながら楽しく会話を楽しんでいました。

「また来たい」という声も多くとても楽しい一日でした。



一般講座

1日研修



7月10日(金)、一般講座の一日研修で上山市浄水センターの見学と陶芸教室に行きました。

浄水センターでは『水がきれいになるまで』の話を実験をしながら学習してきました。

陶芸教室では丁寧に説明していただき、上手に作ることができました。途中でサポートして頂いたりもしたのでイメージ通りに出来たので皆さん満足で、出来上がりが楽しみです。



高齢者教室 モルック

7月8日(水)、社会福祉協議会の方を講師に迎え、高齢者教室の事業、「モルック」をチーム戦で競い合いました。

最初に上山市オリジナル健康体操をスポーツ県民歌に合わせ歌いながら体操をしました。

パズルを解いて、紫陽花チームと朝顔チームに分かれ、チームで対戦しました。最初はスキttlを倒すだけで楽しいのですが、回数を重ねた人は狙った通りに倒せた喜び、ちょっと計算する事によって頭の体操になり、競技している本人も見ている人も、丁度いい位の競争とチームの一体感で、楽しい時間をすごしました。



女性だけのお茶会

日時 9月2日(水)午前10時から正午
場所 中部地区公民館 会議室1
対象 中部地区管内在住の女性
公民館 女性の利用者
募集人数 10人程度(事前に準備が必要なので申込み下さい)
申込締切 8月26日(水)

参加者募集

公民館を利用している女性の方、中部地区管内在住の女性の方、公民館職員と情報交換をしませんか？
時間をつくって公民館に遊びにきてください。

宿題教室

日時 8月2日(日)
午前10時から午後3時まで
場所 中部地区公民館
対象 上山小学校に通っている児童
持ち物 夏休みの宿題、勉強したい物など
筆記用具、内履き

夏休みの宿題や、夏休みに勉強したい物を持ってきてください。元、学校の先生や学習塾の先生がわからないところと一緒に勉強してくれます。



両日とも参加申込みは必要ありませんので、すきな時間においでください。
撮影不可の児童は、事前にご連絡くださいますようお願いいたします。
何か不明な事がありましたらお気軽に公民館にお電話ください。

キッズオープンデー

日時 8月22日(土)
午前10時から午後3時まで
場所 中部地区公民館
対象 上山小学校に通っている児童
持ち物 内履き

一部の部屋を除き、公民館を開放します
上山小学校に通っている児童でしたら参加できるのでお友達と一緒に遊びにきてください

8月の予定

2日(日) キッズオープンデー(宿題教室)
5日(水) 高齢者教室(健康講座)
13日(木) 休館日
14日(金) 休館日
19日(水) はこべの会 サロン
22日(土) キッズオープンデー
25日(火) 第2回地域づくり委員会

はこべの会 8月のサロン

健康講座 骨粗しょう症
簡易骨密度測定と茶話会

日時 8月19日(水)
場所 中部地区公民館 多目的ホール
会費 300円
申込締切 8月12日(水)

8月の百歳体操

6、20、27日

藤井松平氏シリーズ7. 松平信宝（1）「丸野清耕の謎の絵」

松平信宝侯は多くの治績を成し遂げた名藩主信行侯の長男です。その治世中に藩御用絵師丸野清耕の不思議な絵があります。俗に「蝦蟇仙人、鉄拐仙人の術比べ」と云われる絵ですが、この絵はどうして生み出されたのでしょうか。

純然たる仏画ではありません。山水画、神仙思想の絵でもなく儒教の天尊の絵でもありません。道教とマニ教が混じり込んだ禅林道釈仏画に源流をもちます。道教のなかの全真教は、南宋代（12c~13c）に活躍した李鉄拐、劉海蟾を祖師として布教をすすめました。日本の留学生は従来の三蔵（経・律・論）の仏典、祖師像を讀める画法の他に自由な道釈仏画も学びました。雪舟（15c）は梁楷（12c）、牧谿（13c）を、世阿弥（14c）は顔輝（13c）に学びました。

南宋・元「画の六法」の一つの代表が顔輝（南宋末）の「蝦蟇鉄拐図」「寒山拾得図」ですが、全真教祖師李鉄拐、劉海蟾を描く「蝦蟇鉄拐図」（百万遍知恩寺蔵）は、中国には残っておらず日本に唯一現存します。他に吉山明兆（14c）の「達磨蝦蟇鉄拐図」（東福寺蔵）、雪村周継（15c）、狩野探幽（17c）の「達磨蝦蟇鉄拐図」（南禅寺蔵）となり、続く狩野派、長谷川派（等伯）、琳派（宗達・光琳）に展開しました。しかし、「宋元仏画」の深流の精神性をもつ画風は曾我肅白（18c）や原在中（18c）につながり、「蝦蟇鉄拐図」の筆様は直截に魂の象の表現を取りました。その蝦蟇を背負い、靈気を吐く両仙人の趣意は、劉海蟾が背負う三本指の「青蛙神」（蝦蟇・蟾蜍）はもとにかえる運を象徴し、片や靈気を吹きだして魂遊離を自在にして死からさえる蘇る李鉄拐仙人の姿なのです。

上山藩御用絵師丸野清耕（1784~1843）は、江戸に出て奥絵師の宗家中橋狩野家十四代邦信に師事し学びました。その『蝦蟇、鉄拐』の図柄系譜は狩野（探幽）派の画風で全身像ではなく半身像の絵なのです。風貌寒山拾得に似た蓬髪垢面、しかし不思議な「蝦蟇・鉄拐仙人」なのですが、絵は現在最上三十三観音二十九番最上町富澤観音に奉納されています。住職によれば新庄戸澤藩主からの奉納とのこと。画には落款「（丸野）清耕」朱文方印、日付「天保十三

辛丑（1842）」があります。なぜ上山の御用絵師の絵が新庄にあるのでしょうか。

上山藩主松平信宝侯は天保二年（1831）に家督を継ぎ、天保五年（1834）に新庄戸澤藩主正胤の秀姫を娶りました。しかし、姫は翌天保六年（1835）七月に十七才で死去してしまいました。上山藩から贈られた「蝦蟇、鉄拐仙人図」の天保十三年（1842）日付をどう見るかですが、妻の七回忌香資と見ることもできますが、妻秀姫の父戸沢正胤侯は天保十一（1840）年三月に退隠し、子息正令侯、孫正実侯の後見役を務めました。治世中は家中騒動や財政逼迫に直面しますが、倭約、勧農、織物など殖産振興に努めて藩政を立て直しました。一方、上山信宝侯は自らの父信行侯の治世中の法改正、天舗館新設、村山支領を美作支領、さらに越後長岡支領へ替地、干魃、豪雨、十日町大火や宿場町の振興策を講じるなど治世に奮励し天保二年（1831）に隠居しました。信宝侯は父の全霊で取り組む姿を、妻の父（舅）戸澤藩主正胤侯にも感じ、天保十一年（1840）の退隠の御祝いとして絵師の構想を承認しました。「蝦蟇仙人」「鉄拐仙人」の姿は藩政に全力を尽くす姿を讀えた画想なのです。清耕にとっては永年の集大成、畢竟の力作で絶筆の画となりました。

丸野清耕は江戸で狩野派に学び腕を磨き「蝦蟇鉄拐図」の画想を温めてきました。象の陰に潜む気韻（生命）の大切さです。南宋末の顔輝に倣い構想したのです。その趣意は両仙人の術比べではなく上山松平信行侯賛（讀）、新庄戸澤正胤賛（讀）で、それぞれ出羽の封地を愛する気魄・気韻、矜持、その魂を讀える渾身の作品だったのです。



（上山藩御用絵師丸野清耕『蝦蟇鉄拐図』）

※参照：「宋元仏画」（京博特別展図録）、「武田喜八郎著作集」、「上山市史」、資料集「御傳記」①など。現在、最上三十三観音第二十九番富澤山観音は本堂修復中ですが、令和九年には完了し丸野清耕の絵を見ることができます。